

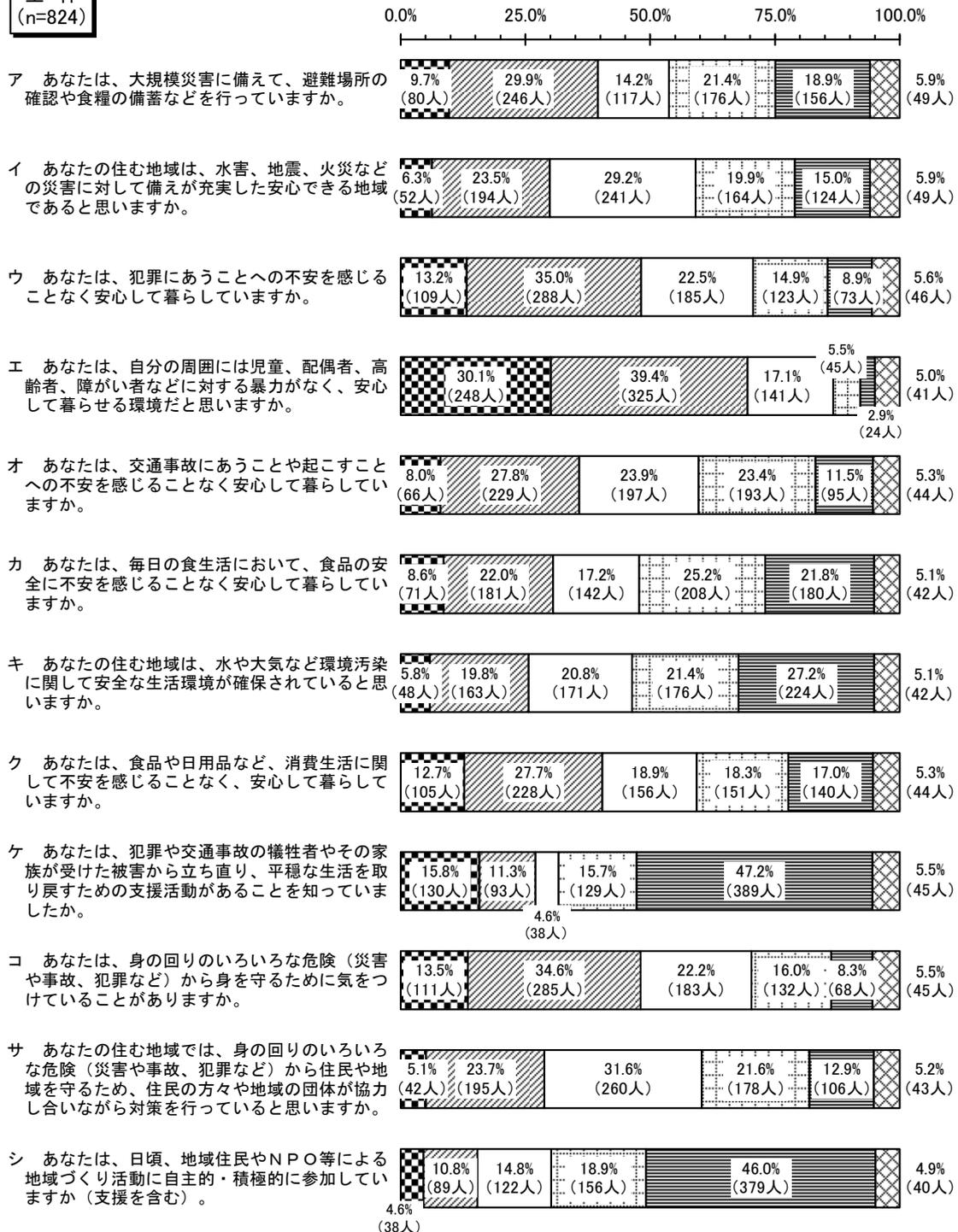
7 安全で安心な県づくりについて

(1) 安全・安心の現状

問24 次にあげた（ア）～（シ）の項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。
それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

- はい
 どちらとも言えない・該当しない
 いいえ
 どちらかと言えば「はい」
 どちらかと言えば「いいえ」
 無回答

全体
(n=824)



〈あなたは、自分の周囲には児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する暴力がなく、安心して暮らせる環境だと思いますか〉（30.1%）に「はい」と回答した人が最も多く、3割となっている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、〈あなたは、自分の周囲には児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する暴力がなく、安心して暮らせる環境だと思いますか〉（69.5%）が最も多く、7割弱となっている。〈あなたは、犯罪にあうことへの不安を感じることなく安心して暮らしていますか〉（48.2%）と〈あなたは、身の回りのいろいろな危険（災害や事故、犯罪など）から身を守るために気をつけていることがありますか〉（48.1%）が5割弱、〈あなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じることなく、安心して暮らしていますか〉（40.4%）と〈あなたは、大規模災害に備えて、避難場所の確認や食糧の備蓄などを行っていますか〉（39.6%）が約4割となっている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、〈あなたは、日頃、地域住民やNPO等による地域づくり活動に自主的・積極的に参加していますか（支援を含む）〉（64.9%）と〈あなたは、犯罪や交通事故の犠牲者やその家族が受けた被害から立ち直り、平穏な生活を取り戻すための支援活動があることを知っていましたか〉（62.9%）が6割を超え、高くなっている。